

【大会開催における新型コロナウイルス感染対策ガイドライン】

大会名称 第23回西日本学生拳法個人選手権大会

開催日時 令和5年6月25日（日）11：00～（選手受付10：30～）

開催場所 吹田市武道館（洗心館丸善）

本大会開催に際しましては大会役員で種々討議を重ねて参りました。現状では、感染者も減少しスポーツ競技・各種イベントの開催も開始されつつあります。

更には本年5月8日から新型コロナウイルス感染も5類としての扱いとなりました。

この社会状況を鑑み、本連盟加盟大学に練習活動を調査致しましたところ、既に感染防止策を継続して行い練習しているのが現状です。

そこで本大会を通常開催（コロナ以前）に少しずつ緩和して行うことを検討致しました。

そこで、専門家「感染症専門医」と感性防止対策指導をもとに大会主催者としてのガイドラインを作成し、このガイドラインを遵守することで本大会開催を決定致しました。

※ 感染予防対策ガイドライン

選手・指導者・大会役員は絶えず体調管理に留意し、体温37.5度以上、その他の体調不調の者は参加させない。

大会開催日より逆算して4日前に各大学指導者・出場選手の抗原検査（医療用）を実施し陰性確認をして下さい。無症状で擬陽性・陽性結果の判明した者は診療機関でPCR検査を行い、その結果で出場の可否を決定します。

抗原検査及びPCR検査の費用は各大学（各自）の負担とします。

指導者は代表監督の責任において大会当日に所定の健康診断確認届（**新型コロナウイルス感染防止確認用**）に必要事項を記入して体育館入場口（受付）で係役員に提出し、確認後に入場。

会場収容定員に対して50%未満の入場制限とし、今回より事前予約した一般来場者・来賓の会場観戦も可とする。

出入口各1箇所とし、入り口では消毒と検温を各大学で実施。

当日は消毒検温（消毒薬・体温計は各大学で持参）は各大学の指導者が行い、学連役員が確認後、会場入場。

開会式 表彰式・閉会式は今回より簡素化して行う。

大会会場入館は本学連に登録された部員 マネージャーと一般観客（各大学 OB・OG、保護者や教育関係者の入場も可とするが全参加者は指導者証・学生 ID カード・大学別 ID カード・ゲスト証を着用義務とする。ゲスト証は大会運営本部で貸与する。

上記着用無き場合の会場入館はできません

選手・指導者・観客共に声援も解禁とする。

選手の給水は各自個別のものを準備する。

入場者全員、こまめな手洗い。うがいの励行。

※ 大会会場内のマスク着用について

本大会は初夏開催に加えて気温上昇も鑑み、熱中症予防からも出場選手は陰性確認が取れているので**マスク着用は不要**とする。

観客は可能な限りマスク着用を推奨します。

指導者・役員はマスク着用します。

審判員フェースシールド着用義務。

食事（大会役員・審判）は決められた場所で取り、その他（選手含む、全員）は定められた自校の席で行い、ゴミは大会終了後にゴミ返却場へ持参する。

大会中・大会終了帰宅後でも体調変化・体調不良が確認された場合は、速やかに大学指導者に報告して指示に従うと共に大会主管団体委員長に報告すること。

大会終了後は会場責任者立ち会いの下で消毒作業を実施。

ゴミの廃棄は完全分別して専門業者廃棄処分とする

※その他は本連盟 事故防止・公衆衛生管理対策について遵守する。本ガイドラインは日本スポーツ協会作成のスポーツイベントの再会に向けた感染拡大予防ガイドラインを参考にして、本連盟産業医のアドバイスをうけて作成しました。本大会全関係者に日本スポーツ協会作成のスポーツイベントの再会に向けた感染拡大予防ガイドライン及び政府の見解を事前配布して研修させています。